

Attorney Docket No. 15162/02760

#3
5-18-00
9M
11000 U.S. PTO
09/808239



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re

U.S. application of: Takashi KONDO, Masaaki NAKAI,
Koichi KOHRIYAMA, Kazuaki OKUMURA,
Hideo HOTOMI, and Katsuhiko ASAI
For: CONTENT DELIVERING SYSTEM
U.S. Serial No.: To Be Assigned
Filed: Concurrently
Group Art Unit: To Be Assigned
Examiner: To Be Assigned

BOX PATENT APPLICATION
Assistant Director
for Patents
Washington, D.C. 20231

EXPRESS MAIL MAILING LABEL NO.: EL195372342US
DATE OF DEPOSIT: MARCH 14, 2001
I hereby certify that this paper or fee is being deposited with the
United States Postal Service "Express Mail Post Office to Addressee"
service under 37 C.F.R. § 1.10 on the dated indicated above and is
addressed to BOX PATENT APPLICATION, Assistant Director for
Patents, Washington, DC 20231.

DERRICK T. GORDON

Name of Person Mailing Paper or Fee

Signature

March 14, 2001

Date of Signature

Dear Sir:


CERTIFIED COPY OF PRIORITY DOCUMENT

Submitted herewith is a certified copy of Japanese
Patent Application No. 2000-084186, filed March 24, 2000.

Priority benefit under 35 U.S.C. § 119/365 for the
Japanese patent application is claimed for the above-
identified United States patent application.

Attorney Docket No. 15162/02760

Respectfully submitted,



James W. Williams
Registration No. 20,047
Attorney for Applicants

JWW:pm

SIDLEY & AUSTIN
717 North Harwood
Suite 3400
Dallas, Texas 75201-6507
(214) 981-3328 (direct)
(214) 981-3300 (main)

March 14, 2001

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年 3月24日

出 願 番 号
Application Number: 特願2000-084186

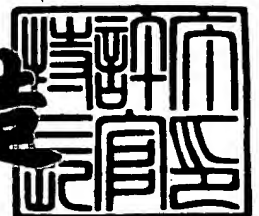
出 願 人
Applicant(s): ミノルタ株式会社



2001年 1月26日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3001853

【書類名】 特許願

【整理番号】 ML11627-01

【提出日】 平成12年 3月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06K 17/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 近藤 尊司

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 中井 政昭

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 郡山 康一

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 奥村 和明

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 保富 英雄

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル ミノルタ株式会社内

【氏名】 浅井 克彦

【特許出願人】

【識別番号】 000006079

【氏名又は名称】 ミノルタ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100091432

【弁理士】

【氏名又は名称】 森下 武一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 007618

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9716117

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ配信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数のコンテンツを蓄積するホストサーバと、該ホストサーバからコンテンツを受け取る中継サーバと、該中継サーバからコンテンツの配信を受ける表示端末とからなり、

前記中継サーバは各コンテンツを所定の表示端末に振り分けて配信すること、を特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 2】 前記中継サーバは、ホストサーバからコンテンツに付随する表示条件を受信し、該表示条件を満たすか否かを判定して各表示端末にコンテンツを配信することを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 3】 複数のコンテンツを蓄積するホストサーバと、該ホストサーバからコンテンツを受け取る中継サーバと、該中継サーバからコンテンツの配信を受ける表示端末とからなり、

前記中継サーバは各コンテンツをそれに対応する表示端末を示す情報と共に各表示端末に配信し、

各表示端末は前記情報に従って表示を行うこと、

を特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 4】 前記表示端末は複数のグループに分けられ、前記中継サーバは各グループに属する表示端末に同じコンテンツを配信することを特徴とする請求項 1、請求項 2 又は請求項 3 記載のコンテンツ配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コンテンツ配信システム、特に、広告を主たるコンテンツとして複数の表示端末に配信するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術と課題】

従来、不特定多数を相手方とする広告の掲示はプリントされた紙が主流であっ

た。しかし、近年では、液晶等を使用して薄くて表示領域の広いペーパライクな表示装置が種々開発され、紙を使用した広告に代えて、この種の表示装置を用いた広告表示システムが提案されている。

【0003】

例えば、特開平5-233893号公報には、広告代理店から発信された情報を車両に設けたサーバを介して各表示端末に表示させる広告システムが開示されている。このようなシステムを実際運用するに際しては、多種類の広告を多数の表示端末にどのように振り分けて表示させるか等进行处理する必要が生じる。しかし、前記公報ではそのような問題への対処に関して何ら提案されていない。また、表示端末の個数が増大すると、管理や通信の負担が大きくなるという問題も残されている。

【0004】

そこで、本発明の目的は、複数の表示端末に種々のコンテンツを効率よく表示させることのできるコンテンツ配信システムを提供することにある。

【0005】

さらに、本発明の他の目的は、前記目的に加えて、コンテンツの管理や通信の負担を軽減することのできるコンテンツ配信システムを提供することにある。

【0006】

【発明の構成、作用及び効果】

以上の目的を達成するため、第1の発明に係るコンテンツ配信システムは、複数のコンテンツを蓄積するホストサーバと、該ホストサーバからコンテンツを受け取る中継サーバと、該中継サーバからコンテンツの配信を受ける表示端末とからなり、前記中継サーバは各コンテンツを所定の表示端末に振り分けて配信することを特徴とする。

【0007】

第1の発明に係るコンテンツ配信システムにおいては、中継サーバを起点として各コンテンツを所定の表示端末に振り分ける。従って、種々のコンテンツを通信の負担を軽減して効率よく各表示端末に表示させることができる。

【0008】

特に、第 1 の発明に係るコンテンツ配信システムにおいて、前記中継サーバは、ホストサーバからコンテンツに付随する表示条件を受信し、該表示条件を満たすか否かを判定して各表示端末にコンテンツを配信することが好ましい。

【0009】

さらに、第 2 の発明に係るコンテンツ配信システムは、複数のコンテンツを蓄積するホストサーバと、該ホストサーバからコンテンツを受け取る中継サーバと、該中継サーバからコンテンツの配信を受ける表示端末とからなり、前記中継サーバは各コンテンツをそれに対応する表示端末を示す情報と共に各表示端末に発信し、各表示端末は前記情報に従って表示を行うことを特徴とする。

【0010】

第 2 の発明に係るコンテンツ配信システムにおいて、各コンテンツには対応する表示端末を示す情報が付加されており、コンテンツを配信された表示端末は該情報に従って表示を行う。即ち、各表示端末は自身が表示すべきコンテンツであれば該コンテンツを表示し、そうでなければ表示しない。従って、種々のコンテンツを中継サーバの管理負担を軽減させて効率よく表示することができる。

【0011】

また、第 1 及び第 2 の発明に係るコンテンツ配信システムにおいて、前記表示端末は複数のグループに分けられ、前記中継サーバは各グループに属する表示端末に同じコンテンツを配信することが好ましい。コンテンツの配信管理が容易になる。

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係るコンテンツ配信システムの実施形態について、添付図面を参照して説明する。

【0013】

(コンテンツ配信システムの全体構成、図 1 ～ 3 参照)

図 1 は第 1 実施形態であるコンテンツ配信システムを示し、概略、ホストサーバ 1 と、中継サーバ 2 と、表示端末 3 とで構成されている。

【0014】

ホストサーバ1は、広告代理店あるいは本システムの運用者である企業体、例えば、電鉄会社に設置されており、不特定多数の広告主からインターネットを介して広告コンテンツ及びその掲載条件を受信する。さらに、ホストサーバ1は、各中継サーバ2にコンテンツをその掲載条件を付加して転送する。

【0015】

中継サーバ2は、複数の表示端末3を備え、各所に配置されている。例えば、各ビルに一つずつ、あるいは各駅や車両ごとに配置されている。電車の路線ごとに配置してもよく、配置個所は任意である。

【0016】

この中継サーバ2はホストサーバ1から転送されたコンテンツをその掲載条件に基づいて自己の管理下にある表示端末3に選択的に配信し、表示させる。掲載条件とは、広告掲載期間、掲載位置等である。掲載位置とは、例えば、車両であれば、車内の吊り掲示板、壁面掲示板等を意味する。また、中継サーバ2はコンテンツの掲載期間が終了すれば表示端末3での表示を終了させる。このように、中継端末2が各表示端末3での表示スケジュールを管理するため、ホストサーバ1の管理負担が軽減される。

【0017】

表示端末3は、ビルであれば正面玄関、各フロアのエレベータホール等、電車であれば吊り掲示板、壁面掲示板等任意の位置に設置されている。表示媒体としては、TFT液晶、ネマティック液晶、カイラルネマティック液晶、LED、EL発光素子等が用いられる。特に、カイラルネマティック液晶等のメモリ性を有する表示媒体を用いれば、電力の供給を停止しても表示を維持でき、省エネルギー化に寄与する。

【0018】

各表示端末3はIDを有しており、該IDは中継サーバ2との通信時に使用される。

【0019】

図2は第2実施形態であるコンテンツ配信システムの要部を示し、図1に示した中継サーバ2を、第1中継サーバ2Aと第2中継サーバ2Bとの2段階構成と

したもので、図示しない表示端末は第 2 中継サーバ 2 B と接続されている。第 1 中継サーバ 2 A は複数のものが配置され、それぞれ複数の第 2 中継サーバ 2 B が接続されている。他の構成は図 1 に示したシステムと同様である。

【 0 0 2 0 】

例えば、第 1 中継サーバ 2 A を一つのビルの管理室に配置し、複数の第 2 中継サーバ 2 B をビルの各フロアに配置することができる。この場合、各第 2 中継サーバ 2 B には各フロアに配置した表示端末 3 が接続される。また、第 1 中継サーバ 2 A を電車の車掌室に配置し、第 2 中継サーバ 2 B を各車両に配置してもよい。この場合、第 2 中継サーバ 2 B には各車両内に配置した表示端末 3 が接続される。

【 0 0 2 1 】

図 3 は第 3 実施形態であるコンテンツ配信システムを示し、基本的には前記第 1 実施形態と同様であり、異なるのは、表示端末 3 を特定のグループごとにまとめ、各グループに属する表示端末 3 を一括して制御するようにした点である。表示端末 3 のグループ分けは、例えば、一つの車両において車内吊り掲示板のグループ、壁面掲示板のグループとして分けられている。

【 0 0 2 2 】

なお、本第 3 実施形態にあっても、第 2 実施形態に示したように、中継サーバ 2 を第 1 中継サーバ 2 A と第 2 中継サーバ 2 B との 2 段階構成にしてもよい。

【 0 0 2 3 】

(ホストサーバでの処理、図 4 ～ 6 参照)

ここで、ホストサーバ 1 での処理手順の一例を図 4 に示す表示画面、図 5, 6 に示すフローチャートを参照して説明する。ここで説明する処理手順は各表示端末 3 が電車内での広告掲示板として設けられていることを前提としている。

【 0 0 2 4 】

広告主がパソコンによってインターネットを介してホストサーバ 1 の広告受けホームページにアクセスすると、図 4 に示す画面例 1 が広告主のパソコン上に表示される。

【 0 0 2 5 】

広告主が画面上で各種掲載希望条件（車両、種類、期間等）を入力して「OK」の表示をクリックすると、掲載希望条件がホストサーバ1へ送信される。各種条件はプルダウンリストにより選択することで行われる。このとき、必ずしも全条件を入力する必要はない。空白の条件欄があると、ホストサーバ1から条件の空き状況（例えば、区間大阪～京都は空きがないが、区間大阪～神戸は空いている）が送られてきて表示されるので、それを見ながら追加入力することができる。

【0026】

ホストサーバ1は広告主から掲載希望条件を受信すると、図5に示す掲載条件受付けの処理を実行する。

【0027】

まず、条件をホストコンピュータに入力し（ステップS101）、全条件が入力されたか否かを判定する（ステップS102）。全条件が入力されていない場合（ステップS102でNO）、入力されている条件について掲載可能か否かをチェックすると共に、空き条件を検索する（ステップS106）。空き条件が無い場合には掲載が「不可」と判断し（ステップS107）、その旨を広告主へ送信する（ステップS108）。空き条件がある場合には、空き条件をリスト化して広告主へ送信する（ステップS109）。

【0028】

また、ステップS109での処理の後、広告主が空き条件リストを参照して条件欄に入力し、再度送信してきた場合も、前記ステップS101からの処理が実行される。

【0029】

一方、全条件が入力されていると（ステップS102でYES）、掲載可能か否かをチェックし（ステップS103）、不可であればその旨を広告主へ送信する（ステップS104でYES、ステップS108）。許可できる状況であれば、その掲載条件での掲載料金を演算して広告主へ送信する（ステップS105）。

【0030】

広告主は返信された料金を見てOKであれば、「料金決定」の表示（図4には図示されていない）をクリックする。このクリック信号はホストサーバ1へ通知され、同時にコンテンツと掲載条件もホストサーバ1へ送信される。

【0031】

前記「料金決定」が通知されると、ホストサーバ1では図6に示す料金決定入力の処理を実行する。

【0032】

まず、掲載条件とコンテンツをホストコンピュータへ入力して記憶させ（ステップS201）、掲載条件をスケジュール管理テーブルに記録する（ステップS202）。この記録内容は前記ステップS103、106での判断に使用される。

【0033】

次に、掲載条件に基づいてコンテンツとその掲載条件を対応する中継サーバ2へ送信する。例えば、車両の種類や区間の条件に基づいて対応する中継サーバ2が決定され、送信される（ステップS203）。

【0034】

掲載条件を例示すると、例えば、以下の表1に示すものになる。

【0035】

【表1】

表1（掲載条件の例）

	掲載条件				
	車両	表示端末 (グループ)	期間	時間帯	区間
コンテンツA	快速	吊り1	2000.4.1-4.15	8:00-10:00	大阪-京都
コンテンツB	普通	壁2
コンテンツC	快速	壁1			
...					

【0036】

なお、ホストサーバ1は前述した処理以外に、あるいはそれを変形した様々な処理を行うこともできる。

【0037】

例えば、月別に掲載予定のコンテンツを蓄積しておき、ステップS203では、月単位で翌月分をまとめて対応する中継サーバ2へ送信してもよい。

【0038】

また、スケジュール管理テーブルは各中継サーバ2に格納されていてもよい。この場合、ホストサーバ1は広告主から送信されてきた掲載条件に対して、掲載可能か否かを各中継サーバ2に問い合わせることになる。このような処理を行うのであれば、広告受付け用のサーバが複数設置されていても対応可能になる。

【0039】

また、ホストサーバ1はコンテンツに対応する中継サーバ2のIDを付加して各中継サーバ2へ送信してもよい。この場合、中継サーバ2は送信されてきたコンテンツのうち自身のIDが付されているものを選択的に受け取ればよく、ホストサーバ1が予め対応する中継サーバ2を選択して送信する手順を省略することができる。

【0040】

(料金体系)

ところで、広告料金は掲載条件の組み合わせに基づいて決定される。さらに、例えば、区間によっては推定乗客数に基づいて基本料金が異なる。推定乗客数は、定期券や切符が使用された時間帯を自動改札機でカウントし、その情報をホストサーバ1に入力し、所定時間ごとに基本料金を更新してもよい。

【0041】

(中継サーバでの処理、図7，8参照)

次に、中継サーバ2での処理手順の一例を図7，8に示すフローチャートを参照して説明する。

【0042】

各中継サーバ2は、ホストサーバ1からコンテンツと掲載条件とが送信されてくると、それらを管理テーブルに記録する(ステップS301)。

【0043】

その後、中継サーバ2はコンテンツの表示更新をチェックする。即ち、中継サーバ2は日付けが変わったか否か(ステップS401)、時刻が変わったか否か

(ステップ S 4 0 2)、区間が変わったか否か(ステップ S 4 0 3)を判定し、いずれかが変更されると、管理テーブルをチェックする(ステップ S 4 0 4)。

【 0 0 4 4 】

ステップ S 4 0 4 では、「日付け」、「時刻」、「区間」の組み合わせで、管理テーブル内のコンテンツを検索し、掲載を開始させる条件と一致するコンテンツを抽出する。同時に、既に掲載されているコンテンツのうちで掲載を終了させるものを抽出する。

【 0 0 4 5 】

新規に掲載を開始するコンテンツがある場合には(ステップ S 4 0 5 で Y E S)、対応する表示端末 3 へコンテンツを配信すると共に、表示更新を指示する(ステップ S 4 0 6)。掲載を終了するコンテンツがある場合には(ステップ S 4 0 7 で Y E S)、対応する表示端末 3 へ表示消去を指示する(ステップ S 4 0 8)。

【 0 0 4 6 】

中継サーバ 2 から表示端末 3 へのコンテンツの配信は、各表示端末 3 へ同時に行われる。配信先の表示端末を指定して順次選択的に配信することも可能であるが、通信時間を節約する点では同時配信が好ましい。また、無線 L A N を利用してもよい。

【 0 0 4 7 】

(配信方式)

前述の如く、中継サーバ 2 から表示端末 3 へコンテンツを同時に配信する場合、その配信方式は以下に説明する 2 種類を代表的なものとして挙げることができる。

【 0 0 4 8 】

第 1 は、各表示端末 3 が自身が属しているグループを認識している場合である。例えば、以下の表 2 に示すように、新規掲載コンテンツには表示されるべき端末グループ名「吊り 1」、「壁 1」等が付加されており、配信されたコンテンツに付加されているグループ名が自身の属しているグループと一致すると、該コンテンツを記憶して表示する。

【 0 0 4 9 】

【表 2】

表 2（配信方式 1）

新規掲載コンテンツ	端末グループ
A	吊り 1
B	壁 1

【 0 0 5 0 】

第 2 は、各表示端末 3 が自身の I D を有している場合である。端末グループ名がそのグループに属する端末 I D に変換されてコンテンツに付加される。但し、端末グループ名は付加データではない。例えば、以下の表 3，4 に示すように、新規掲載コンテンツには表示されるべき端末 I D が付加されており、配信されたコンテンツに付加されている端末 I D が自身のものであれば、該コンテンツを記憶して表示する。

【 0 0 5 1 】

表 3 では、コンテンツと端末 I D が 1 対 1 に対応付けられている例である。また、表 4 ではコンテンツに対して複数の端末 I D が対応付けられている例である。この例では 1 回の配信で複数の表示端末へ同時に送信されるので効率的である。

【 0 0 5 2 】

【表 3】

表 3（配信方式 2）

新規掲載コンテンツ	端末 I D	（端末グループ）
A	IDa	（吊り 1）
A	IDb	
A	IDc	
B	IDe	（壁 1）
B	IDf	

【 0 0 5 3 】

【表 4】

表 4（配信方式 2）

新規掲載コンテンツ	端末 I D	（端末グループ）
A	IDa	（吊り 1）
	IDb	
	IDc	
B	IDe	（壁 1）
	IDf	

【0 0 5 4】

なお、中継サーバ 2 が「新規掲載コンテンツ」に代えて「消去指示コンテンツ」を送信すると、表示端末 3 では端末グループ名又は端末 I D に基づいてコンテンツの表示を消去する。

【0 0 5 5】

ところで、前述した配信方式において、コンテンツは掲載条件を満たした後に、中継サーバ 2 から各表示端末に配信されるが、通信速度が遅い場合や、コンテンツのデータ量が大きい場合には、通信に時間を要し、表示開始タイミングが遅れるおそれがある。

【0 0 5 6】

この対策として、更新条件の変更タイミング以外の期間に、次に表示するコンテンツを各表示端末 3 に配信しておき、変更タイミングでは更新指示信号のみを送信してもよい。予め配信されたコンテンツは各表示端末 3 に内蔵された不揮発性メモリに記憶しておけば、電源がオフされた場合にも待機させておくことができる。また、コンテンツの配信に要する時間を予想して早い目に表示端末 3 へ配信するようにしてもよい。

【0 0 5 7】

また、前記配信方式で説明した表示端末のグループは、表 3，4 に示した以外に種々の態様で分類することができる。例えば、一つの車両内であっても設置順序（奇数番目と偶数番目）でグループ分けしてもよい。また、表示端末 3 がビル内に設置されているのであれば、フロアごとに、あるいは正面玄関というようにグループ分けすることもできる。

【0058】

（表示端末での処理、図9参照）

次に、表示端末3での処理手順の一例を図9に示すフローチャートを参照して説明する。ここでは、表示端末3としてカイラルネマティック液晶等のコレステリック相を示す液晶を含む表示素子を用いていることとして説明する。コレステリック相を示す液晶はメモリ性を有するため、一旦表示した後は電力の供給を停止する。これにて省エネルギーの効果を発揮する。

【0059】

コンテンツと端末グループ名又は端末IDを受信すると（ステップS501）、受信した端末グループ名又は端末IDが自身のものか否かを判定する（ステップS502）。自身のものであれば、表示更新動作を行うために各部への電力供給を開始する（ステップS503）。

【0060】

ここで、消去が指示されているのであれば（ステップS504でYES）、現在表示されているコンテンツを消去し（ステップS507）、電源をオフする（ステップS508）。一方、消去の指示でなければ（ステップS504でNO）、受信したコンテンツをメモリに記憶し（ステップS505）、表示の更新を行う（ステップS506）。その後、電源をオフする（ステップS508）。

【0061】

（他の実施形態）

なお、本発明に係るコンテンツ配信システムは前記実施形態に限定するものではなく、その要旨の範囲内で種々に変更することができる。

【0062】

特に、ホストサーバ、中継サーバ及び表示端末の構成は任意である。また、それらの設置個所や表示端末のグループ分けも任意である。また、表示対象となるコンテンツは必ずしも広告に限定するものではない。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1実施形態であるコンテンツ配信システムを示す概略構成図。

【図 2】

本発明の第 2 実施形態であるコンテンツ配信システムを示す概略構成図。

【図 3】

本発明の第 3 実施形態であるコンテンツ配信システムを示す概略構成図。

【図 4】

ホストサーバへアクセスしたパソコンの画面表示例を示す説明図。

【図 5】

ホストサーバでの受付け時の処理手順を示すフローチャート図。

【図 6】

ホストサーバでの料金決定入力時の処理手順を示すフローチャート図。

【図 7】

中継サーバでのコンテンツ入力時の処理手順を示すフローチャート図。

【図 8】

中継サーバでの更新チェック時の処理手順を示すフローチャート図。

【図 9】

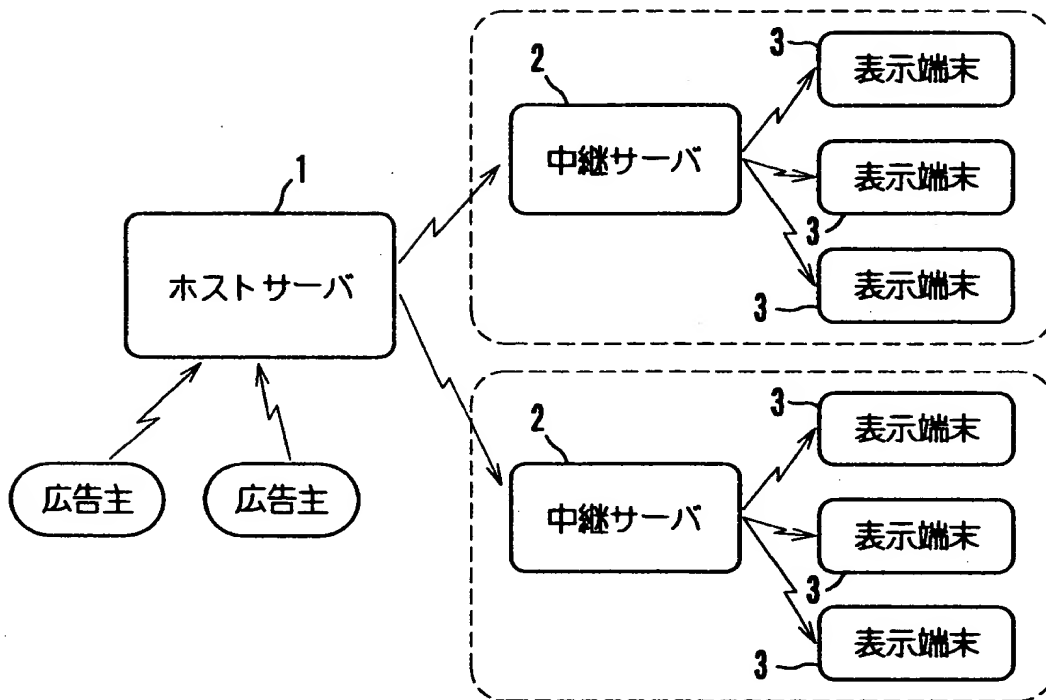
表示端末での表示更新時の処理手順を示すフローチャート図。

【符号の説明】

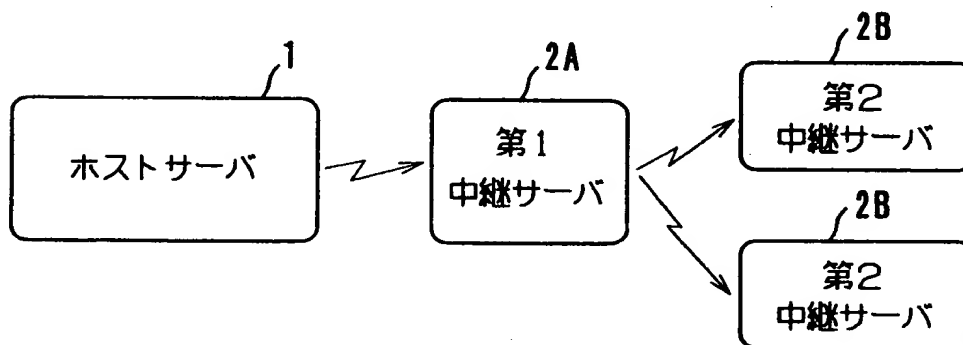
- 1 …ホストサーバ
- 2, 2 A, 2 B …中継サーバ
- 3 …表示端末

【書類名】 図面

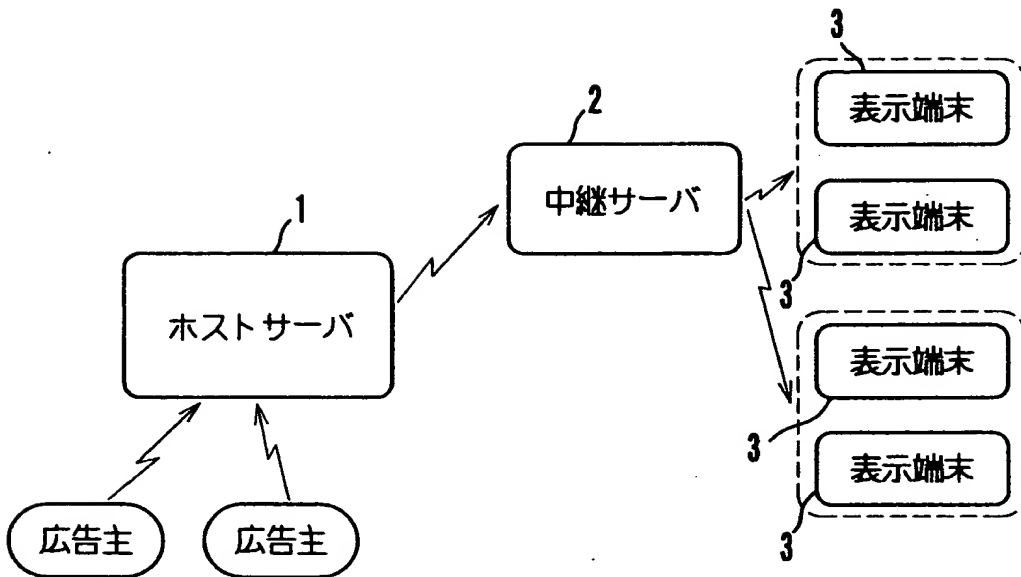
【図 1】



【図 2】



【図 3】

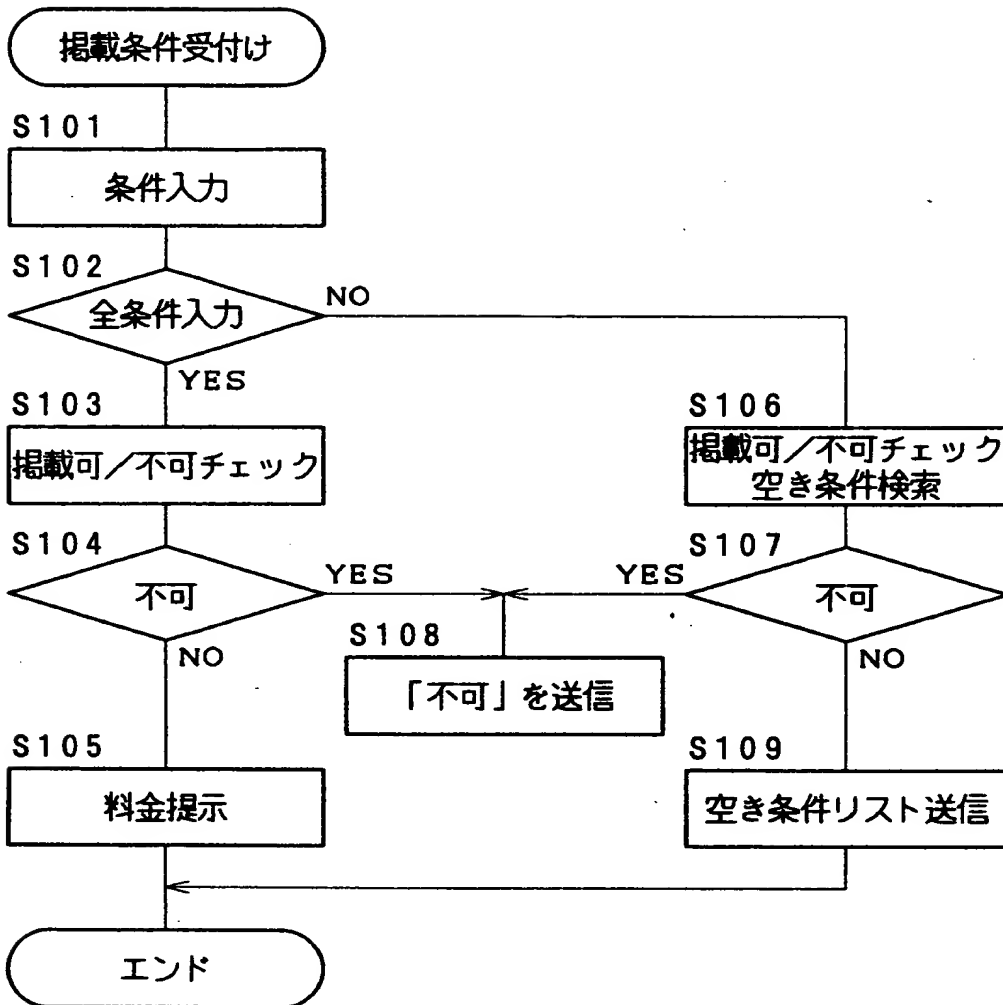


【図 4】

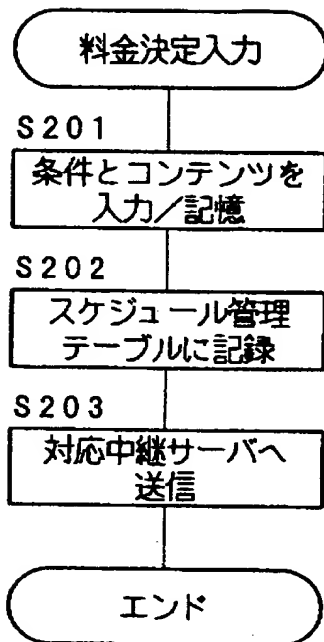
画面例 1

車 両	<input type="text" value="快 速"/>	▽	<ul style="list-style-type: none"> ・可・不可表示 ・空き条件リスト ・料金 	
種 類	<input type="text" value="吊り 1"/>	▽		
期 間	始	<input type="text" value="月 日"/>		▽
	終	<input type="text" value="月 日"/>		▽
時間帯	始	<input type="text" value="8:00"/>		▽
	終	<input type="text" value="10:00"/>	▽	
区 間	<input type="text" value="大 阪"/>			
	<input type="text" value="京 都"/>			
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="クリア"/>				

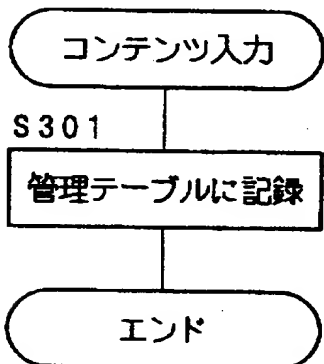
【図 5】



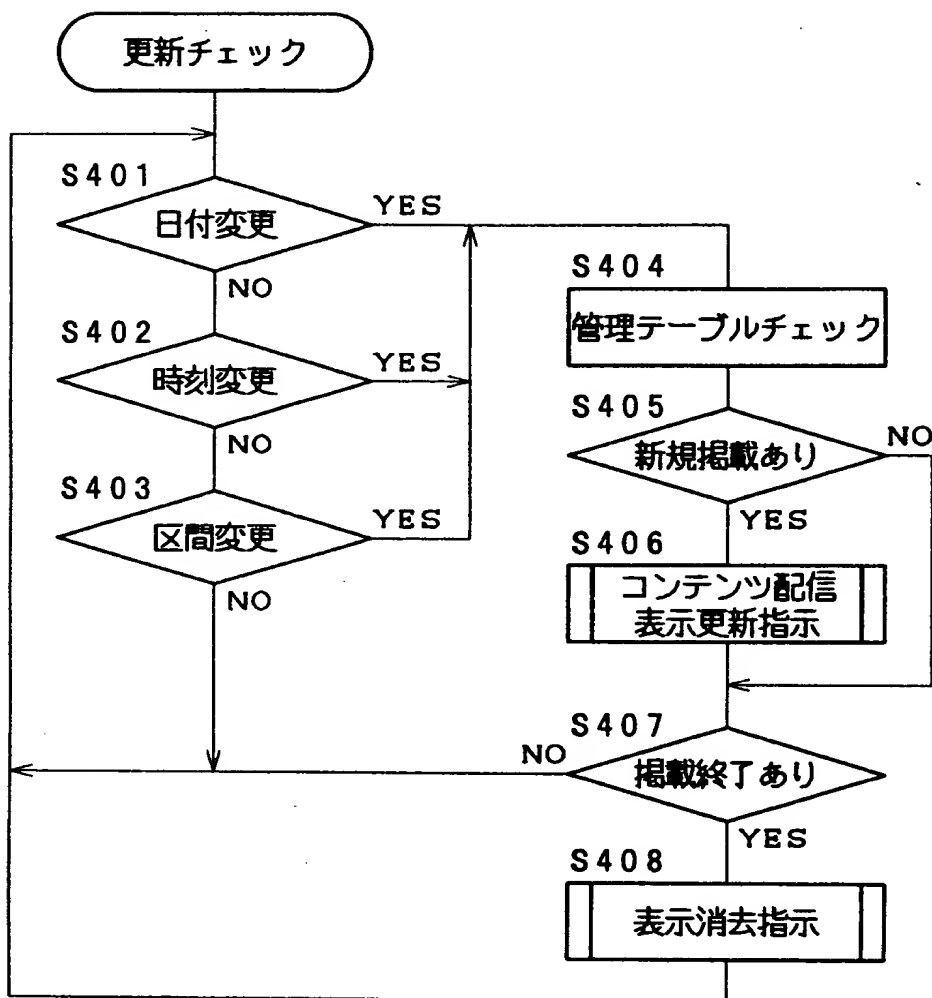
【図 6】



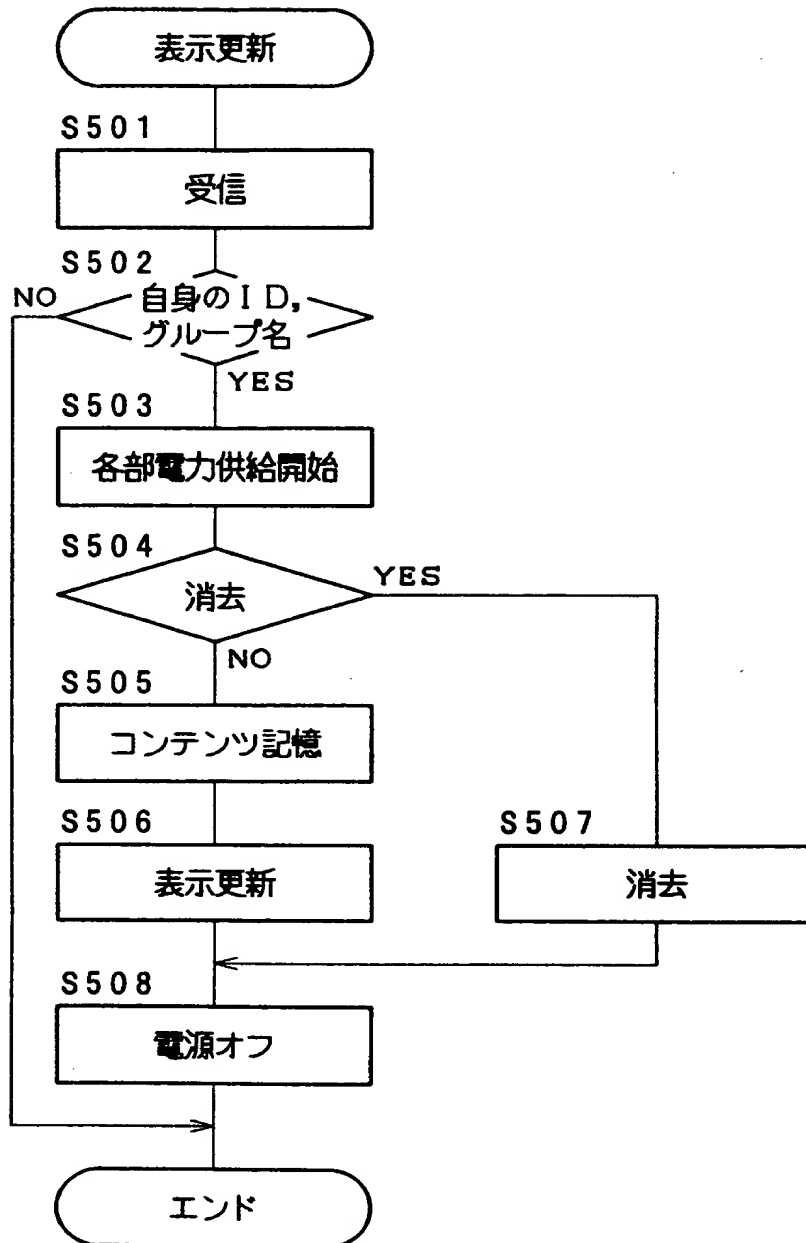
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 複数の表示端末に種々のコンテンツを効率よく表示させることのできるコンテンツ配信システムを得る。

【解決手段】 複数のコンテンツを蓄積するホストサーバ1と、該ホストサーバ1からコンテンツを受ける中継サーバ2と、該中継サーバ2からコンテンツの配信を受ける表示端末3とで構成され、中継サーバ2は各コンテンツを所定の表示端末に振り分けて配信する。中継サーバ2は各コンテンツをそれに対応する表示端末を示す情報と共に各表示端末3に配信し、各表示端末3は前記情報に従って表示を行うようにしてもよい。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006079]

1. 変更年月日 1994年 7月20日

[変更理由] 名称変更

住 所 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビル
氏 名 ミノルタ株式会社